

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970500306
法人名	有限会社五月商事
事業所名	グループホームさつき
訪問調査日	平成 19年 9月 20日
評価確定日	平成 20年 1月 21日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月5日

【評価実施概要】

事業所番号	3970500306		
法人名	有限会社 五月商事		
事業所名	グループホームさつき		
所在地 (電話番号)	土佐市高岡町甲2065-2 (電話)088-852-6255		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年9月20日	評価確定日	平成20年1月21日

【情報提供票より】(19年8月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 8人, 非常勤 12 人, 常勤換算	14.6 人

(2) 建物概要

建物形態	併設/ 単独	新築 /改築
建物構造	鉄骨造り	
	2 階建て	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有()円 <input type="radio"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 <input type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	11 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 88 歳	最低	82 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	井上病院、塩田歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人代表者は、長年、医療・福祉の分野で地域に貢献してきた方で地域住民の信頼は厚い。認知症の方が地域でその人らしく安心して暮らして行けることを願い、H16年8月1日に開所した事業所である。住宅地の中心にありながら、騒音は感じず周辺の民家との調和もとれている。事業所の南面は、広い敷地に芝生も植えられており、四季の花木にも囲まれている。敷地内に数ヵ所設置しているベンチでお弁当を食べることもある。職員の優しさ、温かさのケアで、ゆったり、安心して暮らしていることが、利用者の表情からも窺える。「食べること」の楽しみを大切に捉え、食材料には特に留意している。今後も「ゆっくり・ゆったり」の時間の流れの中でくつろぎ、安心してその人らしい暮らしが継続され、地域に密着した事業所として発展することを期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価で改善課題として指摘された項目については、改善の優先順位を立て対応している。管理者を中心に、全職員で課題内容をチェックしたうえで、改善シートを作成している。その中でも、地域の人達との交流を図る項目については、運営推進会議に参加している住民を介して、地域住民の理解とも相まって、地域への拡がりに目ざましいものがある。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員は、評価の意義を十分理解しており、前回の改善課題も考慮に入れながら、新たな気づき、見出したこと等を意見として提供・提言するなど前向きに全員で取り組んでいる。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議の参加メンバーは、利用者代表2名、家族代表、地域代表、行政代表、赤十字慰問団、法人事務長、管理者で構成され、2か月に1回開催している。特に目立った意見はないが、利用者から、食事の事などで意見が出る。事業所側からは自己評価の内容、外部評価の結果について、説明・報告をしている。今後、さらに双方向的な会議に進展することを期待する。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族からの意見や苦情はない。家族に対しては、月1回のお便りに近況報告、イベント時の写真など同封し送付している。全員の利用者の写真を、個人毎に写真集として作り、家族の来訪時に見てもらい希望者には差し上げている。ホームでの穏やかな表情に、どの家族も喜び、なかには遺影にされた方もいた。事業所側は家族との関わり、協力を非常に重要視している。些細なことでも連絡を取り合いながらケアをしており、そのことが面会、外出、外泊がとて多しことに繋がっている。今後も、より一層のホームとの信頼や協力関係の構築を期待する。
	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 今まで地域との係わりが少なかったが、運営推進会議の開催をきっかけに住民代表者との係わりが深まった。地域の小学校の運動会に招待されたり、事業所の行事への参加呼びかけを行うなど地域との付き合いが拡がりつつある。現段階では町内会への加入はしていないが、地域の一人として地元の活動や地域住民との交流に積極的に参加することは、地域での「支え、支えられる関係」を築き、理解と信頼を醸成する。そのためにも町内会への加入を期待したい。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔開所時に職員が、十分話し合って決めた事業所独自の理念がある。「笑顔でゆったりと過ごせるように、いたわりと優しさを常に心がけ、心のこもった介護を提供する」という内容である。〕 <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容であ 〔 〕	○	地域密着型サービスの意義、役割は理解できているので、理念の見直しを早急にすることを望む。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔ホーム内の目に触れやすい場所に掲示し、月1回の職員会では、理念についての理解を深め実践と共有に努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 〔「笑顔でゆったりと過ごす」という理念のなかにある言葉を事業所の中で実践している。ミーティングにおいては、理念とのずれがないか、具体的なケアについて話し合っている。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔小学校の運動会に招待されたり、事業所の敬老会にも地域の方が多数参加してくれた。地域活動の情報を集め、参加するなど地域との接点を持つ努力をしている。〕	○	地域住民、学校、保育園などとの交流も深まりつつある。地域住民の一員として支え合い、付き合いができる日常的な関係を築くことを意識し、またさらに地域活動の情報収集、それらに参加するなど接点を持つ為にも、町内会への加入を望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔職員は、評価についての意義を理解している。全員で自己評価に取り組み、気づいたことなど積極的な意見も出ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔運営者、管理者、職員は、前回の評価で見出された課題について改善シートを作成し、課題内容を検討し取り組んでいる。特に、地域との関わりについては大きな改善が見られる。〕		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔2か月に1回開催し議事録もある。住民代表の方を通して他の住民からの意見をもらうこともある。利用者からも「歯が悪いので柔らかい物を食べたい」など意見が出ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔前回の運営推進会議で取り上げられた検討事項については、その経過を報告している。また現在取り組んでいる内容、進捗状況など報告し意見をもらっている。〕		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折りに触れて伝えるなど交流を図っている。 〔 〕	○	今後も、事業所側から行政への関係づくりを積極的に行い、協働関係を築く努力を望む。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族が訪問しやすく話しやすい雰囲気づくりに心掛けている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔毎月の請求書と一緒に暮らしぶりや行事、事業所内での写真などを送付し、近況報告をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔家族に対しては、その都度来訪してもらったり、遠方の方には電話連絡をしている。心身の状況、変化については特に留意し、家族との連絡は密にとっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔家族に報告している。県外在住の方については、電話連絡も行うが、2か月に1回程度は来訪されるため、その際に確認印ももらっている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔日頃から、家族の訪問は多く、コミュニケーションはとれている。職員は、事業所の行事の時など、家族同士が話しやすい場面作りを心掛けている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔 〕		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔異動は最小限に抑え、馴染みの関係が継続できる体制を心掛けている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔過去において、ホーム内での異動の際、複数の異動により利用者に対してダメージを与えた。そのことを反省材料・教訓として、現在は、異動については十分配慮している。〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔運営者は、全職員がケアの向上を目指して研修・会議などに参加できる態勢をとっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修等に参加した職員は、月1回の職員会で受講内容を発表している。また研修報告書は全職員が閲覧できるようしている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔加入していない。現在は、法人内の事業所間の交流に留まっている。〕 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔 〕	○	今後は、他の事業所との交流を深めることにより、さらなる質の向上・サービスの提供が望めるので、同業者ネットワークにも加入し交流する機会を増やしていくことを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔希望者には、見学は自由にしてもらっている。体験入居は、現在まで希望者はまだいないが、希望に応じて体験できる体制はできている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔管理者は、入居希望者が施設や病院に入所、入院中の場合は出向いて面接を行う。母体の医療機関に入院中の方には、職員も面接に行き、利用者、家族との関係づくりに配慮している。〕</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔「できること」はしていただき、「できそうかな」と思うことには目配りをし手をさしのべるという気持ちで接している。和やかな雰囲気が随所に見受けられた。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔長年培ってきた生活の技や、元教師の方などからは文学に関する事など、多くのことで人生の先輩として教わる場面が多い。職員は、こうした場面を作るために声かけや工夫をしている。〕</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔日々の係わりの中で積極的に声をかけ、表情等から希望や意向の把握に努めている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔家族からの情報が少ない方や利用者の意向がつかみづらい方がいる。職員は、利用者の行動に寄り添い、訴えや思いを尊重し、耳を傾け、利用者にとって何が最良か、探る努力を根気よく続けている。〕</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [介護計画については「お任せします」という家族もいるが、職員は利用者がより良くその人らしさを失わないように暮らしていけるために、利用者や家族の意見などが取り入れられた介護計画を作成する努力をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 [ホーム独自のアセスメント用紙を作成している。利用者個人の意見も大切に捉え、介護計画に反映するよう努力をしている。職員会、カンファレンスでの意見は活発である。]		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 [定期的には3か月に1回の見直しを行っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 [利用者の状態の変化、家族等からの要望があった場合はその都度検討・見直しを行っている。カンファレンスには、家族や利用者に参加することも多い。] <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 []		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 [医療連携制度の活用と、母体法人の医療機関が近くにあるので状況の変化にも対応でき、生活が継続できるよう支援をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [入居時に、利用者と家族には重度化、終末期のケアについては十分話しをしており、体制はできている。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 [外泊される方が多く、年末、年始は特に多い。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔母体法人の医療機関以外でも家族の希望、病状などにより柔軟に対応できるよう支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔受診結果については、職員間で共有し、家族へもその都度報告し、家族からの問い合わせについても共有できている。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔入居時に、終末期の対応を家族と話し合っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 〔 〕		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔毎月の職員会で、プライバシーの保護には十分配慮するように話し合っている。プライバシーを損ねるような言葉掛けや対応はない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔毎月の職員会でも、個人情報保護法に関しての理解を深め、徹底するように話し合っている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔一人ひとりのその日の体調に合わせて、興味のあることを見出したり働きかけてその方に合った柔軟な支援を心掛けている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔個別性を尊重し希望に沿った支援をしている。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔調理の下ごしらえ、盛り付け、片づけなど一連の流れは、利用者の意志、気持ちを尊重して進めている。献立は、法人の栄養士が立てるが、利用者の好みを優先にしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助の止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔職員は、同じテーブルで利用者と同じ物を食べ、食事を楽しむ雰囲気づくりを大切にしている。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔利用者の希望に合わせた入浴支援をしている。入浴に時間がかかる利用者については、レクの時間を調整するなど、利用者とは話し合い個別の支援を行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせて入浴支援を行っている。 〔入浴を拒否する場合は、言葉掛けに留意し対応している。拒否する方も風呂場に行けば喜ぶ場合が多い。職員は、利用者の特徴を把握して支援するよう心掛けている。〕		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔職員は、利用者の経歴や経験などを把握し、利用者が「喜びのある日」を過ごせるように支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔過去の経験を活かし、生け花、絵画、エレクーンを弾く、野菜作りをするなど利用者の一人ひとりの能力を発揮し活力を高めることができる場面を作っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔職員は、一人ひとりの特徴や得意分野の把握が出来ており、利用者とは話し合いながら支援している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔一人ひとりの体調を考慮しながら、日常的に散歩をしたり、利用者の希望に沿い買い物に出かける支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔散歩、外出、買い物など一人ひとりの希望に沿う支援をしている。〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔職員は、利用者の外出の習慣などの把握はできており、外出傾向のある方には、さりげなく見守りながらケアを行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔近所の方には、散歩の時など必ず挨拶をし、日頃から地域の方との交流を深めるようにしている。〕		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔避難路の確保、消火器の点検は定期的に行い、飲料水、米、ガスボンベ、ガスコンロなどの準備をしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔一人ひとりの嗜好の把握はできている。その日の体調により、「とろみ」を付けたり、軟らかくしたり、個別の対応で栄養摂取量には配慮をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔法人の栄養士がチェックをしている。〕		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔事業所内にはベンチ、テーブル、畳のコーナーがあり、馴染みの家具も設置していた。ソファの位置の工夫も見られた。メダカの水槽があり、利用者が餌をあげ楽しんでいた。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 〔利用者と一緒に作った作品の掲示も、家庭的な雰囲気を醸し出している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔事業所内の廊下、玄関には四季の花が生けられ、共用空間には季節毎の装飾をするなど、四季を味わい、くつろぎ、安らぎのある暮らしができるように配慮している。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔居室には、使い慣れたタンス、家具、衣装ケースなど利用者の馴染みの物が置かれている。家族の写真や、孫、ひ孫と一緒に撮った写真など温かみを感じた。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔家族の協力は得られている。釣りが好きだった利用者は、居室に釣り竿を置いていられる。居心地良く暮らせるように留意し、家族との連携は良い。〕		